証券コード6859

2024年度(2025年3月期)
エスペック株式会社 決算説明

2025年5月26日

代表取締役 執行役員社長 荒田 知

2025年度 計画について

2025年度計画のポイント

・中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」の初年度として成長戦略を実行

・成長投資（モノづくりの高効率化および新製品開発）と株主還元を実行

・受注高は、EV・バッテリー向け投資（主に生産用途）が減少すると想定、
AI半導体、自動運転、衛星通信市場の需要を獲得し、高水準を維持

・製品リードタイムの短縮による受注残高の消化、原価改善・コストダウンにより
収益性を向上し、過去最高業績の更新を目指す

2025年度 環境認識

世界経済の先行きは不透明であるが、先端技術開発投資は継続する

装置事業	環境試験器	日本 ：EV・バッテリー向け投資（主に生産用途）は減少するものの、 AI半導体、自動運転関連の投資は堅調に推移 中国 ：自動車関連は低迷するが、半導体関連は期待 ASEAN:EV・バッテリー関連の投資が低調 北米 ：衛星通信は好調、AI半導体関連の投資に期待 欧州 ：経済減速により低調
	エナジーデバイス装置	国内の充放電試験用チャンバーは前期並み
	半導体関連装置	メモリ関連の投資は緩やかに回復
サービス事業	アフターサービス 受託試験・レンタル	アフターサービス ：保守契約拡販により堅調に推移 受託試験 ：EVバッテリーの安全性試験が好調
その他事業	環境保全 植物育成装置	前年度の万博特需が剥落するも植物工場が堅調

2025年度 業績予想

（百万円）

	2024年度	2025年度 予想			
	通期実績	上期	下期	通期	前期比
受注高	67,514	33,500	32,500	66,000	△2.2%
売上高	67,288	31,000	37,000	68,000	+1.1%
売上総利益 利益率	23,987 35.6%	11,500 37.1%	13,900 37.6%	25,400 37.4%	+5.9% +1.8pt
販管費 販管費率	16,460 24.5%	8,150 26.3%	8,750 23.6%	16,900 24.9%	+2.7% +0.4pt
営業利益 利益率	7,526 11.2%	3,350 10.8%	5,150 13.9%	8,500 12.5%	+12.9% +1.3pt
経常利益 利益率	7,793 11.6%	3,450 11.1%	5,200 14.1%	8,650 12.7%	+11.0% +1.1pt
親会社株主に帰属する当期純利益 利益率	6,003 8.9%	2,500 8.1%	3,690 10.0%	6,190 9.1%	+3.1% +0.2pt
1株当たり当期純利益(円)	274.97	114.51	169.02	283.53	+3.1%
ROE	11.0%	—	—	11.0%	±0pt

セグメント別の業績予想

（百万円）

		2024年度	2025年度予想			
		通期実績	上期	下期	通期	前期比
装置事業	受注高	57,283	28,430	27,070	55,500	△3.1%
	売上高	57,507	26,420	31,180	57,600	+0.2%
	営業利益	6,610	2,910	4,430	7,340	+11.0%
サービス事業	受注高	8,532	4,520	4,680	9,200	+7.8%
	売上高	8,425	4,210	4,990	9,200	+9.2%
	営業利益	793	490	590	1,080	+36.0%
その他事業	受注高	2,170	800	1,000	1,800	△17.1%
	売上高	1,758	600	1,100	1,700	△3.3%
	営業利益	126	△50	130	80	△36.9%
連結消去	受注高	△472	△250	△250	△500	-
	売上高	△403	△230	△270	△500	-
	営業利益	△4	0	0	0	-
計	受注高	67,514	33,500	32,500	66,000	△2.2%
	売上高	67,288	31,000	37,000	68,000	+1.1%
	営業利益	7,526	3,350	5,150	8,500	+12.9%

2025年度 想定為替レート

■想定為替レート

	2023年度	2024年度		2025年度
	通期実績	上期実績	通期実績	通期想定
USドル(円)	144.59	152.77	152.62	145
ユーロ(円)	156.74	166.05	163.87	160
元(円)	20.13	21.16	21.11	20

2025年度為替感応度 ※1円円安変動時の影響 (百万円)

	売上高	営業利益
USドル	+74	+11
ユーロ	+15	+10
元	+518	+95

2025年度 投資計画

（百万円）

	2024年度	2025年度 予想			
	通期実績	上期	下期	通期	前期比
設備投資額	3,690	920	1,670	2,590	△29.8%
減価償却費	1,716	960	1,030	1,990	+15.9%
研究開発費	1,343	1,010	820	1,830	+36.2%

主な投資内容

・福知山工場の生産設備増強

・国内子会社の生産能力強化
（事業所移転）

主な開発内容

・先端技術分野の製品ラインアップ拡充
（主力製品のモデルチェンジ、機種追加）

・低GWP冷媒など環境配慮型製品の拡充

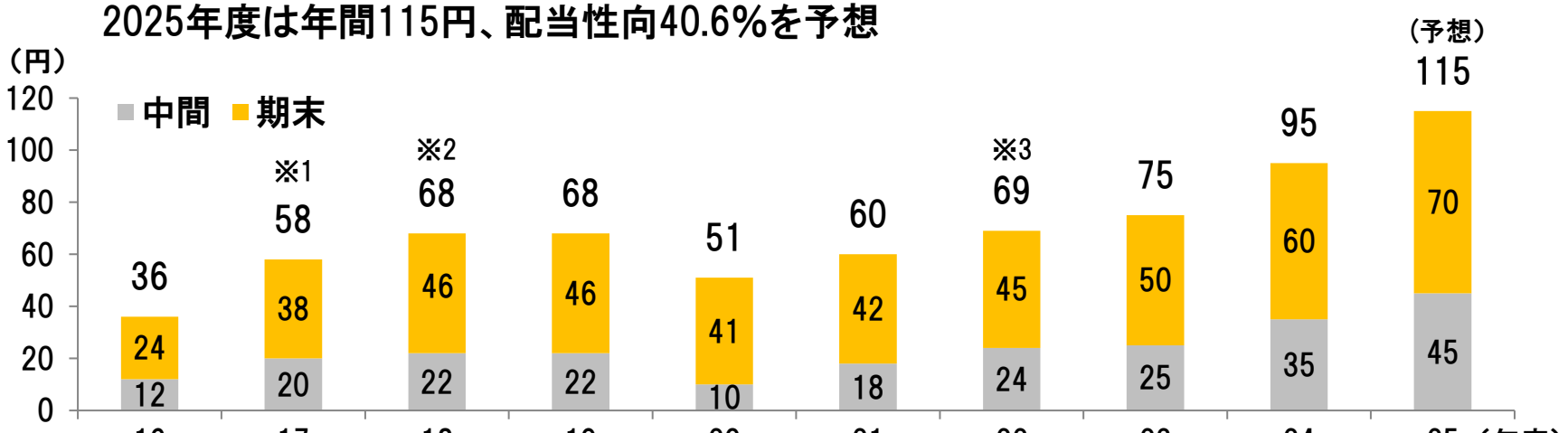
株主還元方針と2025年度配当予想

株主還元方針

配当性向を40%以上とし自己株式取得を機動的に実施
中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の期間は、
3年間累計で総還元性向を50%以上とし減配しない

一株当たり配当金と配当性向・総還元性向

2025年度は年間115円、配当性向40.6%を予想



	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
配当性向	36.8%	40.1%	36.2%	55.2%	59.4%	70.7%	45.9%	33.0%	34.5%	40.6%
総還元性向	36.8%	40.1%	36.2%	55.2%	59.4%	126.9%	78.9%	33.0%	34.5%	-

(下線部は自社株買いを実施)

※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む
※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算　12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)
※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2025年度 主な取り組み

装置事業

・受注残高の消化、および内製化の拡大による製品リードタイム短縮
・ターゲット市場の試験ニーズに合致した高付加価値製品の開発および販売拡大

サービス事業

アフターサービス：「スーパーサポートプラン」や保守契約サービスの販売拡大
受託試験　　：「あいち次世代モビリティ・テストラボ」の売上拡大

エリア戦略

日本 ： AI半導体、自動運転分野での営業活動強化、買い替え需要の獲得
米国 ： 衛星通信、AI半導体分野への販売拡大
中国 ： 半導体、通信関連などの先端技術分野への拡販

2025年度 ESGの主な取り組み

■E(環境)

・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進

・地球温暖化対策:
　低GWP冷媒への置き換え、製造など事業活動におけるCO_2排出量削減

・生物多様性保全活動:
　環境保全事業による貢献、「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進

■S(社会)

・人的資本戦略の展開、人材育成

・インターナルコミュニケーションの推進、従業員の健康増進と安全確保、
　エンゲージメント調査の実施

・女性管理職の育成、障がい者雇用の促進と定着化

■G(ガバナンス)

・BCPの再構築

・人権方針の策定

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

【お問い合わせ先】　エスペック株式会社
〒530-8550　大阪市北区天神橋3-5-6
TEL　06-6358-4744　　FAX　06-6358-4795
e-mail　ir-div@espec.jp
サステナビリティ推進部　　部長　　中川
IR・広報グループ　　大川・貝川

Quality is more than a word

ESPEC